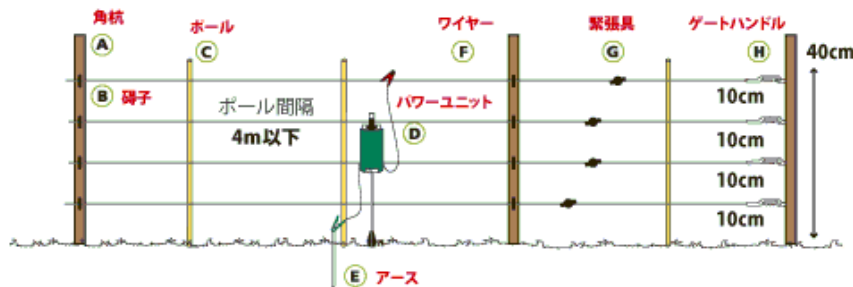


[トップページ](#) > アライグマ・ハクビシン防除用電気柵



アライグマ・ハクビシン対策 ～電気柵～

4段張り



イラストの部品をクリックすると、部品のページにジャンプします

A: 角杭

出入り口や曲がり角、地面の凹凸のある場所に使ってフェンスを支えます。力がかかる場所なので、ある程度しっかりした垂木や[絶縁木インサルトンバー](#)、[Y型ポスト](#)などを使います。垂木を使った場合は[リング碍子](#)などを取り付けて絶縁してください。

B: 碍子

垂木などにワイヤーを取り付ける際に使います。ガラガーのパワーユニットはパワーが強いので、確実に絶縁するためにもプラスチックの肥料袋などは使わず、専用の碍子をお使いください。

C: ポール

ワイヤーを支えるためのポールで、高さが自由に調節できる[グラファイポール](#)や設置が簡単な[マルチポール](#)がおすすめです。

D: パワーユニット(電牧器)

ワイヤーに電気を流すための機械です。高電圧の電気を流して、触れた動物にショックを与えます。このショックは静電気のようなもので、動物に怪我をさせたりするようなことはありません。養蜂のようにフェンスの移動を行う場合は[乾電池式](#)や[バッテリー式](#)、家の周囲の田畑で電源が確保できる場合は[100V電源式](#)の機種があります。バッテリー式は電源の無い場所でも[ソーラーパネル](#)による発電を利用して作動させることができます。

E: アース

パワーユニットが流す電気をひろい、電気的な回路を完成させる役目を果たします。パワーユニットがその性能を発揮するには、十分なアースが設置されている必要があります。フェンスを移動させる際には、アースも取り外して設置しなおしてください。

F: ワイヤー

一番見やすい白色の[ホワイトワイヤー](#)や[リボンワイヤー](#)を使って目立たせます。

G: 緊張具

きつワイヤーを張っても距離が長いほどワイヤーはたるんでしまいます。そんな状態を解消するために100mに1箇所程度の割合で緊張具を使います。通常ポリタイプのワイヤーを使うので、[簡易緊張具](#)を使います。

H: ハンドル

出入り口に使用します。高電圧を流しているワイヤーを結ぶのですから、しっかりしたハンドルを選びたいもの。ガラガーのハンドルは高電圧に耐え、劣化を防ぐしっかりとしたつくりになっており、安心してお使いいただけます。専用の部品を組み合わせた[ゲートセット](#)も取り揃えています。

動物別の仕様

[イノシシ](#)

[シカ](#)

[クマ](#)

[サル](#)

[アライグマ・ハクビシン](#)

アライグマもハクビシンも近年、よく相談を受けるようになった動物です。アライグマは農作物だけでなく、重要建築物への被害や、日本固有種の捕食などで幅広い被害が見られます。ハクビシンは5本の指で器用にワイヤーを伝って移動し、果樹などに被害を与えています。

アライグマ用ワナはこちら

[・アニマルトラップ](#)
[・エッグトラップ](#)

フェンスの部品

[パワーユニット](#)

[テスター](#)

[杭・支柱](#)

[碍子](#)

[ワイヤー](#)

[接続金具](#)

[緊張具](#)

[リール](#)

[その他電気柵部品](#)

[ゲート](#)

[ネットフェンス](#)

フェンスの種類

[電気柵\(恒久式\)](#)

[電気柵\(簡易式\)](#)

[ネットフェンス](#)

【アライグマ用電気柵】



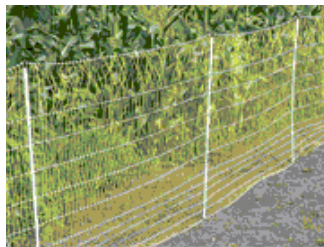
生息数の増加が激しく、急激に生息地が拡大しており、全国の市町村で捕獲や防除などの対策が行われています。アライグマの被害と対策については、[こちら](#)のページにまとめましたので、ご覧ください。



シカとアライグマ防除する電気柵

下にアライグマ用で3段、その上に2段のワイヤーを張っています。このように複数の動物によって被害を受ける場合は、対象動物の特徴に合わせて組み合わせたフェンスを設置します。

どのようなフェンスを作ったらいいか、どんな風に設置したらいいかなど、動物の特徴にあわせてご提案しますので、お気軽にお問合せ下さい。



ネットタイプの電気柵

ネット状の樹脂ワイヤーのなかに金属線が編みこまれており、ここに電気を流すことができます。

電気柵用のネット、フレキシネットについては[こちら](#)をご覧ください。

【ハクビシン用電気柵】



空中に架線されたワイヤーなどをつたって移動できるため、果樹にも大きな被害を与えています。電気柵は予想されるハクビシンの移動経路に設置してください。



ハクビシンの電気柵

ビニールハウス脇に設置した電気柵で、ホワイトワイヤーを4段設置しています。

アライグマ・ハクビシンを防ぐ電気柵について、お見積りをご希望される方はこちらのシートをお使いください。
[お見積り依頼シート](#)： PDF 63KB

[ページの上へ](#)

東京本社 東京都品川区東五反田1丁目19-2 電話：(03) 3449-3711 FAX：(03) 3443-5811 mail: email@surge-m.co.jp
札幌営業所 北海道石狩郡当別町字東裏1338-10 電話：(0133) 25-2222 FAX：(0133) 25-2255 mail: sapporo@surge-m.co.jp

当ホームページに掲載している情報・画像等を、許可なく複製、転用販売等の二次利用を行うことは禁止します。

このホームページはサージミヤワキ（株）札幌営業所が管理をしています。